

あらたな想いをカタチに...

# とにもあゆむ



箱根芦ノ湖海賊船&花火大会

- ◎倉田会の理念「とにもあゆむ」  
患者様とともにトータルケアを目標として歩みます。
- ◎地域とともに  
地域とともに保健事業（予防）・医業・介護福祉事業を展開し地域の健康維持と健康増進を目標として歩みます。
- ◎関係者とともに  
関係機関への情報提供やセカンドオピニオンなど患者様への利益につながるよう努力して歩みます。
- ◎職員とともに  
最良の医療・最良の介護を念頭に患者様、「利用者様の利益につながるよう検討し最良のチームを目指し歩みます。

## No. 48 夏号

=くらた病院特集=

### プロフェッショナル 倉田の良医

●腎臓内科専門外来スタート



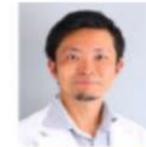
花火イラスト提供：@ongtree



医療法人財団 倉田会



# 2025年5月1日 腎臓内科専門外来スタート



**鈴木 将太 医師** (透析室室長)  
水曜日午後2時～5時



**佐藤 陽 医師** (えいじんクリニック院長)  
金曜日午後2時～5時  
(第2・4・5金曜日診療)

両医師は「日本内科学会認定内科医」「総合内科専門医」「日本腎臓学会専門医」の認定資格を取得されています。

腎臓病の症状は初期には自覚症状がない沈黙の臓器です。腎臓内科外来では、長期間にわたって腎機能低下している慢性腎臓病や腎炎、ネフローゼ症候群、糖尿病性腎症などの腎障害などを専門に扱います。また、健康診断や人間ドックで、腎機能の低下が、疑われる場合や慢性腎臓病には、早期に治療することで、透析を回避できるように生活習慣の改善、食事指導、薬物療法を行います。



腎臓内科専門外来を希望される方は、お問い合わせください。

〒254-0018 平塚市東真土4-5-26



## くらた病院

TEL 0463(53)1955



### 【制作・発行元】

2025年（令和7年）7月1日発行（No.48//夏号）  
医療法人財団倉田会 理念推進室  
～プロジェクトチーム とにもあゆむ～  
〒254-0018  
神奈川県平塚市東真土4-5-26  
TEL0463-53-1955 FAX0463-53-1957  
<http://www.kuratakai.or.jp>

【編集後記】夏の花と云えば、真っ先に思い浮かぶのが向日葵… 燦々と照る太陽に向かい堂々と咲く雄姿は、まさに夏の象徴です。朝顔もまた夏を彩る花のひとつです。早朝の澄んだ空気の中、一斉に花開く朝顔には、物静かな美しさがあります。その姿は蝉時雨の喧騒に包まれながらも、その佇まいはひとときの涼を感じさせてくれます。しかし俳句の世界では「朝顔は秋の季語」とされています。これは、旧暦によるもので、現在の感覚とは少しズレがあります。そこには日本人の季節感や自然への細やかな感受性が、息づいているのかもしれない。夏の盛り頃に咲く朝顔が、秋を感じさせる不思議さ。その微かな季節のゆらぎもまた、表現の世界の豊かさと感じます。朝顔が咲く朝に秋の気配を思う…そんな感性を大切にしたいものです。

# プロフェッショナル 倉田の良医

「症状の奥に潜む真実を

確かな目と優しい心で診断」

くらすた病院 神経内科

吉井文均 先生 (東海大学名誉教授)



とになり、約5年半が経ちました。

この間、倉田 康久理事長や看護部、事務課の皆様にも大変お世話になり、外来診療を続けてきました。

専門は神経内科学で、疾病としては脳卒中をはじめとして、頭痛やめまい、それと最近、急速に増えてきた認知症や運動障害の代表であるパーキンソン病などの患者さんの診療を主に担当させていただいています。

くらすた病院の周辺には神経疾患の診療を専門とする病院や診療所が少ないこともあり、くらすた病院の近くにお住いの患者さんが多く来院されますが、時には平塚市民病院や平塚共済病院からも紹介があり、当院に来院される方も少なくありません。

くらすた病院は神経系の検査としては、頭部CT以外には特別な検査ができませんが、精査が必要な患者さんは適時、近隣であり、以前に私が勤務していた平塚済生会病院や私が別に外来を担当している伊勢原協同病院に紹介して、詳しい検査を施行しています。

近年、社会の高齢化に伴い、アルツハイマー病などの認知症の患者さんや運動障害（歩行障害、ふらつきなど）を主症状とする

パーキンソン病の患者さんなどが増えてきました。特に認知症の患者さんは、65歳以上の高齢者の5人に一人が発症し、80代後半になると男性35%・女性44%と大幅な増加が見られます。最近の報道でご存知の方も多いと思いますが、アルツハイマー病の原因物質であるアミロイドを除去する薬剤も使用可能になり、早期に発見して治療すれば、その進行を抑えることが可能になりました。

また、パーキンソン病に対しては治療薬も多く、この病気ではリハビリテーションが重要ですが、くらすた病院では通院、訪問リハビリテーションが可能であり、あわせて診療が受けられますので、どうぞご利用ください。

吉井文均

《主な経歴》  
慶応義塾大学医学部卒業  
MountSinaiMedicalCenter (MiamiUSA) に留学  
東海大学医学部教授 (内科学系神経内科)  
東海大学医学部附属大磯病院 病院長  
神奈川県済生会 湘南平塚病院 顧問  
高根台病院 顧問  
東海大学名誉教授  
《認定・資格》  
日本神経学会 専門医  
日本内科学会 総合内科 専門医  
日本脳卒中学会 専門医  
日本老年医学会 専門医

「腎と糖を知り尽くす」

臨床と研究のスペシャリスト」

くらすた病院 糖尿病内科

豊田雅夫 先生 (東海大学医学部内科学系腎内分分泌内科学教授)



「地域に根ざした先進糖尿病医療を目指して」  
このたびは、皆さまにご挨拶の機会をいただき、誠にありがとうございます。

東海大学医学部腎内分分泌代謝内科の豊田 雅夫と申します。

私は、これまで一貫して、東海大学医学部付属病院において、糖尿病および糖尿病性腎症の診療と研究に携わってまいりました。そのため、私が担当する患者さんは、糖尿病予備群の段階から透析治療を受けている腎不全の方々まで、非常に幅広いのが現状です。糖尿病は単なる血糖値の管理ではなく、患者さんの人生そのものに深く関わる慢性疾患です。

医師一人で支えきれぬものではなく、大学病院では多職種の医療スタッフと連携し、患者さんを中心に据えたチーム医療を大切にしてきました。特に、インスリン治療や持続血糖測定(CGM)など、先進的な糖尿病治療にも力を入れており、神奈川県内でも高い水準の医療を提供していると自負しております。

しかし、大学病院に通える患者さんには限りがあり「どの地域でも質の高い糖尿病医療を提供できる体制づくり」という私の目標の実現には、まだ課題が残っております。

そうした中、倉田 康久理事長に温かいお声がけをいただき、地域に根ざした新たな糖尿病診療の可能性や糖尿病に精通した

医療スタッフの育成について繰り返しディスカッションを重ねてまいりました。

その結果として、2025年4月から毎週火曜日と第2・第4土曜日に糖尿病専門外来を開設することができました。

今後は、大学病院での経験と知見を地域医療に還元すべく、くらすた病院の先生方やスタッフの皆さまと連携しながら、患者さんにとって最善の医療を提供してまいります。

とりわけ、くらすた病院のように地域に根ざした医療機関との協働は、先進的な糖尿病治療の普及においても極めて重要であり、大学と地域をつなぐ「橋渡し役」として微力ながら貢献していければと願っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

豊田 雅夫

《主な経歴》  
東海大学医学部卒業  
東海大学大学院 医学研究科 内科系専攻  
米国ミネソタ大学 小児腎臓学教室 研究員  
東海大学医学部 腎内分分泌代謝内科 准教授  
東海大学医学部 腎内分分泌代謝内科 教授  
《認定・資格》  
日本内科学会 認定内科医  
日本内科学会 内科指導医  
日本内科学会 総合内科専門医  
日本糖尿病学会 専門医  
日本糖尿病学会 指導医